

2025年12月4日

一般社団法人日本能率協会

**「JMA マネジメント講演会～プレミアム～」を開催
ラグビー元日本代表 真壁伸弥 氏が、
「ラグビーに学ぶチームビルディングとコミュニケーションの力」を語る**

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2025年11月28日（金）、小会東京本部ビル（港区芝公園）で、ラグビー元日本代表・真壁伸弥（まかべしんや）氏に「JMA マネジメント講演会～プレミアム～」開催しました。

「JMA マネジメント講演会～プレミアム～」は、森永製菓株式会社 in トレーニングラボの企画協力のもとトップアスリートを招き、小会法人会員を対象に定期的に実施。今回で4回目を迎えます。アスリートの豊富な経験と知識を共有することで、企業組織への活用支援をしようとするものです。

当日は、抽選で選ばれた小会法人会員の経営者や社員など30名が来場、会場は満席となりました。



講演会は、真壁氏とコーディネーターの対談形式で進行。コーディネーターは、日揮株式会社（現日揮ホールディングス）の元代表取締役社長で、現在小会の「新任執行役員セミナー」、「新任社長セミナー」で講師・コーディネーターを行っている川名浩一（かわなこういち）氏です。

真壁氏は、2015年のラグビーW杯（以下、W杯）で強豪南アフリカに歴史的勝利をおさめた元日本代表メンバーで、現在はラグビーリーグワンの東京サントリーサンゴリアス パートナーシップ担当として活動しています。

現役時代から引退後の現在に至るまでサントリーホールディングス株式会社の社員とアスリートの2つの顔を持つ真壁氏。リーダーシップやチームビルディング、組織力のあり方、多様なメンバーとのコミュニケーションといったチームで培った工夫は、組織マネジメントに生かせる逸話が少なくありません。

講演テーマは「ラグビーに学ぶチームビルディングとコミュニケーションの力～日本代表と東京サントリーサンゴリアスの経験を語る」で、骨子は以下の4点でした。

- ① チームを成功に導くミッションと組織マネジメント
- ② リーダーシップのスタイル
- ③ ダイバーシティコミュニケーションの力
- ④ ラグビーとビジネス、組織マネジメントにおける共通項

以前の日本代表チームは、「世界のトップ 10 と戦えることが想像できなかった」と言います。そんななか、「日本ラグビーを変えたい」というエディー・ジョーンズが 2011 年、日本代表ヘッドコーチに就任し、「何のためにやるのか」と目標意識を持つようになったと真壁氏。チーム選手全員が同じ方向性で目標に向かうことが重要だと話しました。

いきなり大きな目標を設定するのではなく、目の前の小さな目標を設定し、ひとつひとつクリアしていく。小さな成功を積み重ねることで、チームは徐々に強くなった、と。これは、企業組織にも共通することです。

「チームを成功に導くミッション」として、真壁氏が挙げたのは、2015 年の W 杯南ア戦での「準備」についてです。日本代表は、2015 年の南ア戦当日の渋滞情報や天気予報といったデータを得ていました。渋滞情報は 1 年前の同じ日に、宿泊先から試合会場までの移動をシミュレーションする念の入れようです。南ア戦当日、試合会場まではすごい渋滞になったと言います。しかし日本代表は、事前にこの情報を得ていたため、渋滞に巻き込まれることなく試合会場に到着。一方の南アフリカ代表は渋滞に巻き込まれ、2 時間バスのなかに缶詰になり、イライラするなかで試合を迎える結果となったそうです。

この想定外のことへの「準備」が南ア戦勝利の一因となりました。「ぶっつけ本番は絶対にしない」と真壁氏は力を込めます。

そして、「ダイバーシティコミュニケーションの力」。外国人選手が多い日本代表チームでは、「相手を知るところからスタート」としたと真壁氏。国籍多様な選手間の理解を深めるため、コミュニケーションを大切にする。試合中は瞬時の意思疎通が必要になるため、「全員が理解できる言葉を作っていた」と言います。日本語よりも英単語で。それを練習のときから繰り返すことで、試合では効果的に意思疎通ができたそうです。

本講演会をとおり、「目標設定」や「体験（＝準備）」、「コミュニケーション」の重要性を真壁氏から学ぶことができました。これは、企業における組織マネジメントにも共通することが多く、参加者は関心を持って聞き入っていました。

講演会後は、質疑応答と、会場を移して真壁氏や参加者同士の交流会があり、盛況のうちに閉会となりました。

参加者からは「常日頃、ラグビーとビジネスのチームマネジメントには、通ずるものがあると感じていたが、本日の講演を聞いて、改めて実感できて良い機会になった。」といった感想が寄せられ、今後の組織運営に関するヒントが得られたようです。

■プロフィール

眞壁 伸弥（まかべ しんや）氏

宮城県仙台市出身。

中央大学卒業後、2009年にサントリーホールディングス株式会社に入社、サントリーサンゴリアスの主力選手として、LO（ロック）、フランカー（FL）のポジションで活躍。

2008年に日本代表として初選出以来、多くの国際試合に出場した。

2015年に出場したW杯では、南アフリカ戦の歴史的勝利に貢献した。

2019年に現役選手を引退。

引退後もサントリーのウイスキー・ブランデーなど酒類の営業担当として業務にあたり、ウイスキーに造詣が深い。

現在は、ラグビーリーグワンの東京サントリーサンゴリアス パートナースHIP担当として精力的に活動中。



川名 浩一（かわな こういち）氏

1982年 日揮株式会社（現日揮ホールディングス）入社。

インドネシア、イラン、UAE（アブダビ）、英国など15年間海外駐在。

2011年～17年代表取締役社長。2020年6月退社。

現在は、株式会社レノバの取締役会長。

また、バンダイナムコホールディングス、クボタ、東京エレクトロンデバイス等の社外取締役のほか、プライベートエクイティのKKRジャパンのアドバイザー、Citi グループジャパンのアドバイザーボード委員を務める。

2021年よりルブリスト株式会社の代表取締役としてベンチャー企業経営の支援活動を行う。



■「JMA マネジメント講演会～プレミアム～」公式サイト

<https://member.jma.or.jp/manage-premium/>

■JMA 会員制度 公式サイト

<https://member.jma.or.jp/>

【 本件に関するお問い合わせ先 】

一般社団法人日本能率協会

経営企画センター 担当：石井

電話：03-3434-2029／E-mail：member@jma.or.jp